

	目標達成のための方策	活動	4月	5月	6月	7月	活動達成度	取組評価
			目標数	目標数	目標数	目標数		
			達成数	達成数	達成数	達成数		
基礎・基本の定着と 思考力の向上	モジュール授業の工夫を行う。	○モジュールの教材開発を1学期に1教材行う。	9/9 1/9	9/9 1/9	9/9 2/9	9/9 9/9	9/9 9/9	A
	教科担任制の導入による学習指導の充実	○月に1回、教科担任制ブロック会議を行い、授業についての意識統一を図る。(①全員に自分の考えをもたせる。②10分以上の話し合い活動を取り入れる。③自分の考えを自分の言葉で表現する場をもつ。→列指名、グループ指名等45分間の振り返りの時間の確保)	1/1 1/1	1/1 0/1	1/1 1/1	1/1 1/1	4/4 3/4	C
	探究的な学習の工夫	○月に1回、探究的な学習を実践する。(①自分事として考えることができる課題②児童とともに単元計画作成③新たな視点をもつ場面の設定→ショック、GTの話等④地域人材の活用⑤ルーブリックの活用)	9/9 9/9	9/9 9/9	9/9 9/9	9/9 9/9	36/36 36/36	A
	毎月月末の1週間を推薦指定図書週間として位置づけ	○推薦指定図書(低学年20冊、中学年16冊、高学年8冊)を、1学期にそれぞれの1/4を読破できるように取り組む。	80 77.4	80 85.6	80 89	80 87.1	80 84.8	A
共感的人間関係の育成	主体的な挨拶の励行	○毎月13日をあいさつの日と設定し、児童会や生徒指導部を中心に声かけを行う。(月1回)	1/1 0/1	1/1 0/1	1/1 0/1	1/1 1/1	4/4 1/4	D
	主体的・協働的清掃活動の実施	○整備委員を中心に、掃除の前後に目標や反省の視点を放送で伝える。(月1回)	1/1 0/1	1/1 1/1	1/1 1/1	1/1 1/1	4/4 3/4	B
	縦割り班活動・児童会行事等の集会活動の充実	○月1回縦割りの集会を実施する。	1/1 1/1	1/1 1/1	1/1 1/1	1/1 1/1	4/4 4/4	A
体づくり	児童の主体性を引き出す体育科の授業づくり	○ワークシートや場の設定の工夫、ICTの活用、スモールステップによる指導を授業に取り入れる。(毎時間)	8/8 6/8	8/8 6/8	8/8 7/8	8/8 6/8	32/32 25/32	C
	「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底	○生活マスターカードを記入し、自分の目標とする就寝時間を設定する。	75 78.1	75 86	75 85.5	75 85.7	75 83.8	A
		○生活マスターカードを記入し、自分の目標とする起床時間を設定する。	90 86.2	90 90.1	90 91.0	90 89.6	90 89.2	B
		○生活マスターカードを記入し、朝食を摂取する習慣を身につける。	90 98.1	90 98.8	90 98.6	90 98.7	90 98.5	A
スクリーンタイムの実践・	尾道への郷土愛を高める教育を行うために、地域人材・素材を計画的に教育課程に位置付け、実践する。	○地域での学習とゲストティーチャーの活用(1学期に20回、2学期20回、3学期5回)	20 5	20 9	20 21	20 27	20 27	A
	○昨年度よりも、時間外勤務を一日一分減らす。(19:00までの退校)	80 72.7	80 55.5	80 77.7	80 90	80 74.3	B	